



三稜会会報

津島高校同窓会



令和2年8月1日 第69号

発行 三稜会
(津島高校同窓会)

事務局 (津島高校内)

〒496-0853

津島市宮川町3-80

電話 0567-28-4158

発行人 北角 浩一

大転換期

三稜会会長 北角 浩一



この度、武漢発祥の新型コロナウイルス感染症に罹患された方々には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。不安な日々を過ごされている皆さまにおかれましても、一日も早い事態の収束を心よりお祈り申し上げます。

令和に入って既に一年が過ぎました。激変の一年だったように思います。

国内においては、大型台風の影響、消費税10%など。海外に目を向ければ、イギリスのEU離脱問題、米中貿易摩擦、香港デモ、北朝鮮の変化、韓国との貿易管理・GSO MIA問題、武漢発祥の新型コロナウイルス。この原稿を書いているのが令和二年六月です。新型コロナウイルスの第二波も予想される中で、この会報が届けられる八月頃の状況を全く予想できないというのが正直なところです。

今年に入って、具体的に動き始めた津島高等学校創立一二〇周年記念事業も、一部の事業を延期させていただくことにしました。クラブハウスの建設・国際交流事業については開始時期を検討、募金活動については八月一日からの開始、一二〇周年祝賀会については二〇二一年へと一年間の延期と致しました。稲葉真弓賞十周年記念誌と一二〇周年記念写真誌については、予定通り刊行していきたいと考えております。各事業を準備くださっている関係者の皆様、楽しみにしてください。皆様にはご迷惑をおかけしていることを心よりお詫び申し上げます。この一二〇周年事業は、延期となっても是非とも実現したいと考えております。

現在、アフターコロナが話題です。確かに新しいライフスタイルの予感もします。国際情勢をすでに第三次世界大戦に入っていると考えている方も多くいらっしやいます。その中で日本は、また各々個人は、どう選択していくのかは、現在の私たち大人の課題です。加えて、将来の日本の繁栄のために、勇気ある人材を育てることが、特に重要になってくると思います。そういった意味から、同窓生から現役高校生へ

の様々な視点からの援助は、真に重要なことだし、それこそが同窓会の存在意義とも思います。

世界的な大転換期と母校の一二〇周年が重なるのは、偶然ではなく、何かを課せられたような気がしてなりません。

新型コロナウイルス自粛で、同窓生の皆様におかれましても、ご苦労されている方も大変多いと理解しております。

その上で、一二〇周年記念事業への皆様方のご理解とともに、ご協力をお願いする次第です。どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、皆様方におかれましては、引き続きご自愛ください。



マスク姿の登校風景

同窓生の皆様には、本校の教育活動に平素より物心両面から御支援いただき、生徒職員ともども大変お世話になっております。紙面をお借りして御礼申し上げます。

今年は本校創立一二〇周年にあたる記念すべき年ですが、新型コロナウイルス感染症流行を受けて教育現場でも日々対応に追われています。同窓生の皆様におかれましても仕事や生活で大変な御苦労を

されていることと拝察し、心よりお見舞い申し上げます。ところで、私の教員生活の中で、これだけ危機管理の重要性が問われたことはありません。しかしながら、教員生活最後の年に貴重な経験をさせていただいていると、ポジティブに考えています。

このようなポジティブな考えに至ったのも、昨年度、京都で開催されたPTAの全国大会で、日本電産 代表取締役会長（CEO）である永守重信氏の気迫のこもった講演をお聞きしたのがきっかけです。その永守会長が現在の状況を次のように語っておられます。「危機は必ず乗り越えられる。逆にチャンスだ」という力強い言葉です。永守会長は、四十七年前に日本電産を創業、当時は従業員三人の零細企業でした。その後、世界中の会社をM&Aで買収するなどして、売上高一兆五千億円の

大企業に育てあげたカリスマ経営者です。会長は、コロナ危機を機に経営を見つめ直し、企業は変わるべきだと言われています。さらに、「コロナが終わったときには、世界の景色はガラリと変わります。今回のコ



艱難辛苦汝を 玉にす

校長 大野 芳 樹

ロナは、確かに危機で、大変な時代なのですが、立ち向かってそこから学ぶ。立ち向かわないと学べない。逃げてばかりでは、学ぶことはできません。やっぱり堂々と立ち向かっていくことによって、今までのやり方を変えていく。困難がきたって、どんなに無茶苦茶でも、その困難がちゃんと解決策をもってくる。ぶつかってみたら、そこに必ず答えがある。」と仰っています。

現在、生徒は、未曾有の世界的な困難にぶつかっています。そのことを悔んだり恨んだりしていても彼らの未来は開けません。校長として先頭に立って常に「安全・安心」を見える化しながらもこの困難に前向きにぶつかっていきたくと考えております。生徒たちは、コロナ後の世界がどんなに様変わりしようともつぶされない逞しさを身につけて欲しいと願っています。本校一二〇年の歴史の中には、感染症のみならず戦中戦後の混乱期を、先人たちはそれを見事に乗り越えて今日の繁栄を築いてくださいました。我々もコロナに負けず、先人たちの後に続きたいと願っています。

結びに「艱難辛苦汝を玉にす」という諺があります。この諺のとおり、人生は、困難に出会い、苦しみ悩むことであり、人は苦労や困難を乗り越えてこそ立派な人間になれると考えております。そのような教育をすることをお約束し、本校の教育に御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。

津島高校創立120周年スローガン

「誇り高き大樹となれ ～120年とその先へ～」

津島高校が120周年を迎えるにあたり、記念のスローガンを生徒の皆さんに募集したところ、たくさんの応募があり、その中より上記のスローガンが選ばれました。

応募者の中から下記の生徒が6月25日に表彰されました。

最優秀作品（上記） 2年5組 水谷 豊大 さん

優秀作品表彰者（順不同）

2年4組	小川雄大さん	2年5組	国立渚葉さん
2年8組	森 功陽さん	3年1組	加藤梨花さん
3年9組	安達愛乃さん		



国立さん 森君 水谷君 大野校長 安達さん 加藤さん
6/25 スローガン表彰風景

お 知 ら せ

今年9月27日（日）に予定されていた三稜会（同窓会）総会・懇親会につきましては、新型コロナウイルス感染防止のため、誠に残念ですが来年に延期します。今年と来年の幹事学年（43・44回生）が、来年一緒に23・24回生（卒50年）の皆様をお招きいたします。

令和元年度 総 会

四十三回生代表幹事の伊藤欽章（いとうきんしょう）です。ご案内のように節目となる二〇周年記念祝賀会および三稜会総会は東京オリンピックと共に翌年に持ち越しとなりました。二年連続で幹事学年を務めることとなります。節目の幹事学年として四十四回生の力をお借りしながら、「おもてなし」の精神で運営させていただく所存です。あらためまして、母校卒業五十年をお迎えになる二十三年生の皆様、誠にありがとうございます。皆様をお祝いさせて頂くこと、少しだけ準備期間を頂戴しますが、楽しみにお待ちください。さて、本年は五月三十日に臨時理事会を開催し、三稜会総会ならびに記念祝賀会の延期が確定されました。やむなしの状況ではあります。この延期を十分な準備期間の確保と捉え、来年もまた名古屋で開催させていただくことを宣言させていただきます。

総 会 に 向 け て

聞きしてはいた通りの状況になっています。初めて会話をした女子スタッフから、「男子クラスの話」、「女子クラスが男子クラスに近寄れない話」、「〇〇先生のあんな話」、で盛り上がるなど、「よくある話」と一蹴するには惜しい会話が楽しいです。教職に就いた同級生の熱い思いも刺激的です。皆さんはいかがですか？きつと変わりがありません。同年代は横断して皆様の楽しいひと時を過ごしたいと思います。

草稿中の本日も新型コロナウイルス感染はまだまだ予断を許さない状況です。経済的な困難や健康上の不安が、ご自身や周囲の方々に生じることもあるかもしれません。乗り越えられない試練は与えられません。ぜひ、当日まで健やかな心と体を保つていただき、晴れてこの二〇周年を皆様とお祝いしたいと考えています。当日は二年生が力をあわせ、楽しい時間のお手伝いをさせていただきますので、多くの会員の皆様方のご出席を心待ちにしております。

最後になりますが、母校のますますの発展と、会員の皆様の更なるご活躍を祈念し、幹事学年代表の挨拶とさせていただきます。

高校43回生代表幹事

伊藤 欽章

三稜会幹事学年を終えて



北角会長より退任される水谷副会長、服部監事へ感謝状が贈呈されました。



校歌の合唱
前列右2人目から 大野校長、北角会長、寺田先生、伊藤寿浩42回生代表

私達四十二回生が幹事学年として令和初の『三稜会総会・合同懇親会』を無事終える事が出来ました。開催にあたって三稜会役員様はじめ学校・恩師・諸先輩方のご支援・ご協力そして同級生に心から感謝を申し上げます。

当日幹事学年四十二回生は、「誰かが」ではなく「自分が」おもてなしをする意識のもとで団結し、出来た事が非常に充実した一日を過ごすことができました。うれしかったです。

幹事学年の活動を通じて津島高校の暖かい校風と伝統に触れさせていただいて、改めて卒業生であることに喜びを感じております。また記念事業といまして



次年度(今年)幹事学年
伊藤欽章 代表

高校42回生代表
伊藤 寿浩

して、後輩の皆さんには大型送風機を寄贈させていただきました。学校の後輩の皆さんのお役に立てる事を願います。

最後になりますが母校ならびに三稜会のますますのご発展と会員の皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、御礼の挨拶とさせていただきます。



卒業50年の22回生の皆様（総会懇親会風景）

令和2年度 三稜会事業計画(案)

- 校内事務局打ち合わせ 令和2年4月
- 第1回三稜会理事会・幹事会 令和2年5月30日(出)
→新型コロナウイルス感染流行のため中止になりました。
(1) 事業報告 (2) 事業計画
(3) 会計(三稜会・三稜育英会)報告 同監査報告 (4) 予算案
(5) 役員改選 (6) 総会に関する事(幹事学年42回生)
(7) 令和元年度稲葉真弓賞(第10回三稜会懸賞論文)表彰
(8) その他(創立120周年記念事業に関する事)
※第5回創立120周年記念事業実行委員会
★理事会幹事会が中止になりましたが、かわって役員・幹事学年打合せを行いました。
- 三稜会会報(第69号ならびに別冊)の発刊 令和2年8月予定
(趣意書と同送)
- ホームカミングディ 津島高校三稜祭(文化祭)当日
令和2年9月8日(火)の予定でしたが、新型コロナウイルス感染流行のため中止になりました。
- 令和2年度総会・懇親会
(幹事学年：高校全日制43回生・定時制40回生)
○総会 令和2年9月27日(日) 10時半より(会場：キャッスルプラザ)
1)役員改選 2)津島高等学校勤続10年表彰
3)平成31年度事業報告・令和2年度事業計画(案)の報告
4)平成31年度決算報告・令和2年度予算(案)の報告
○懇親会：総会当日午後 受付12:00 開始13:00
(会場：キャッスルプラザ)
令和2年度の総会・懇親会は新型コロナウイルス感染流行のため来年に延期になりました。
(注：卒業50年の23回生の皆様のご招待は来年度の総会でを行います。)
- 創立120周年記念式典 令和2年11月6日(金) 会場：津島市文化会館
- 第2回三稜会理事会・幹事会・創立120周年記念事業実行委員会
令和3年2月上旬予定
- 三稜会入会式(全日制第73回生)令和3年2月26日(金)
卒業証書授与式 3月1日(月)(全日制第73回生・定時制第70回生)

令和2年度 三稜育英会事業計画(案)

- 理事会・評議員会 令和2年5月30日(出) 於：応接室
→コロナウイルスのため中止。書面審議。
(1) 事業報告 (2) 事業計画 (3) 会計報告 同監査報告
(4) 予算案 (5) 役員改選
- 令和元年度稲葉真弓賞(第10回三稜会懸賞論文)選考会
令和2年5月9日(出)→コロナウイルスのため中止。
- 令和元年度稲葉真弓賞(第10回三稜会懸賞論文)表彰式
令和2年7月25日(出)
- 令和2年度稲葉真弓賞(第11回三稜会懸賞論文)募集
令和2年10月要項配布予定
(例年、題は幹事学年が決めます。今回は「共存」)

平成31(令和元)年度 三稜会事業報告

- 校内事務局打ち合わせ 令和元年5月16日(木) 於：会議室
- 第1回三稜会理事会・幹事会 令和元年5月25日(出) 於：応接室・興学館
(1) 事業報告 (2) 事業計画
(3) 会計(三稜会・三稜育英会)報告
同監査報告(5/15監査 山岸監事)
(4) 予算案 (5) 役員改選
(6) 平成31(令和元)年度総会と懇親会の日程について(幹事学年42回生)
(7) 稲葉真弓賞(三稜会懸賞論文)の選考結果について(審査委員会)
(8) 三稜賞表彰について
(9) その他(創立120周年記念事業について)
※第3回創立120周年記念事業実行委員会
- 120周年記念事業 第1回記念誌部会 7月1日(月) 10:00～ 於：応接室
- 三稜会会報(第68号ならびに別冊)の発刊 令和元年7月9日発刊
- ホームカミングディ
昨年から母校の三稜祭(文化祭)当日 今年度は9月4日(木)
- 平成31年度総会・懇親会
(幹事学年：高校全日制42回生・定時制39回生)
○総会 令和元年9月29日(日)10時半より(会場：キャッスルプラザ)
1)役員改選
2)津島高等学校勤続10年表彰(伊藤前教頭・立松教諭)2名
3)平成30年度稲葉真弓賞(三稜会懸賞論文)表彰
4)平成30年度事業報告・平成31年度事業計画の報告
5)平成30年度決算報告・平成31年度予算の報告
○懇親会：総会当日午後 受付12:00 開始13:00
(会場：キャッスルプラザ)
1)卒50年会員表彰(高22回・定19回)
- 120周年記念事業実行委員会新年会
令和2年1月13日(月) 於：レストラン天王 佐屋本店
- 第2回三稜会理事会・幹事会
令和2年2月1日(出) 於：応接室・興学館
第2回創立120周年記念事業実行委員会 於：興学館
※第4回創立120周年記念事業実行委員会
- 三稜会入会式(全日制第72回生)令和2年2月27日(木) 11:45～
於：津島高校三稜館
卒業証書授与式 3月1日(金)(全日制第72回生・定時制第69回生)

平成31(令和元)年度 三稜育英会事業報告

- 理事会・評議員会 令和元年5月25日(出) 於：応接室
(1) 事業報告 (2) 事業計画 (3) 会計報告 同監査報告 (4) 予算案
- 平成30年度稲葉真弓賞(第9回三稜会懸賞論文)選考会
令和元年5月11日(出) 於：応接室
- 平成30年度稲葉真弓賞(第9回三稜会懸賞論文)表彰式
令和元年5月25日(日) 同窓会幹事会にて
令和元年度稲葉真弓賞(第10回三稜会懸賞論文)募集
10月要項・ポスター配布 題「新時代」
募集期間 令和元年11月1日～令和2年1月31日

令和元年度 三稜会(一般会計)収支決算書

自平成31年4月1日
至令和2年3月31日

収入総額 1,840,024 円
支出総額 1,972,795 円
差引残額 -132,771 円 翌年度への繰越額

収入の部

科 目	予算額	決算額	増 減	摘 要	令和2年度予算額
入 会 金 収 入	1,875,000	1,840,000	△ 35,000		1,875,000
繰 越 金 よ り	0	0	0		0
そ の 他 の 収 入	100	24	△ 76	利息	100
合 計	1,875,100	1,840,024	△ 35,076		1,875,100

支出の部

注：来年度卒業予定者数375

会 報 費	1,300,000	1,478,983	△ 178,983	会報・別冊印刷代	1,300,000
慶 弔 費	50,000	15,000	35,000		50,000
生 徒 記 念 品 費	180,000	198,891	△ 18,891	卒業証書入れ代金	180,000
会 議 費	60,000	36,910	23,090	茶菓代等	60,000
事 務 費	170,000	169,011	989	郵送費等	170,000
そ の 他 の 支 出	115,100	74,000	41,100	中日ホームサービス広告料他	115,100
合 計	1,875,100	1,972,795	△ 97,695		1,875,100

当 年 度 収 支 差 額	0	△ 132,771			0
前 年 度 繰 越 総 額	3,902,760	3,902,760		前年度貸借対照表より	3,769,989
繰 越 金	△ 132,771	△ 132,771			0
次 年 度 繰 越 総 額	3,769,989	3,769,989			3,769,989

備考：各科目間の流用を認める。

三稜会(一般会計) 貸借対照表

令和2年3月31日現在

科 目	金 額	(円)
I. 資産の部 普通預金 普通預金 三菱UFJ銀行 津島支店	3,769,989	

収支予算書(案)

自平成31年4月1日
至令和2年3月31日

収入総額	3,313,050	円
支出総額	7,910,964	円
差引残額	－4,597,914	円

自令和2年4月1日
至令和3年3月31日

収入の部

(金額単位：円)

科 目	予算額	収入済額	増 減	摘 要	2年度予算額
三稜会祝賀会からの寄付金	700,000	232,948	△ 467,052		700,000
三 稜 育 英 会 募 金	500,000	541,500	41,500		500,000
三 稜 文 庫 充 実 費 募 金	100,000	95,600	△ 4,400		100,000
松 の 木 保 全 対 策 費 募 金	100,000	69,630	△ 30,370		100,000
稲 葉 真 弓 コーナー募金	100,000	74,726	△ 25,274		100,000
三稜懸賞論文協賛者からの寄付金	800,000	800,000	0		800,000
繰 越 金 よ り	1,498,500	1,498,500	0		1,498,500
そ の 他 の 収 入	1,500	146	△ 1,354	利息	1,500
合 計	3,800,000	3,313,050	△ 486,950		3,800,000

支出の部

科 目	予算額	支出済額	残 額	摘 要	2年度予算額
三 稜 会 総 会 準 備 金	500,000	500,864	△ 864		500,000
三 稜 文 庫 充 実 費	100,000	0	100,000		100,000
松 の 木 保 全 対 策 費	100,000	0	100,000		100,000
三 稜 懸 賞 論 文	800,000	588,280	211,720		800,000
三 稜 賞	100,000	82,948	17,052		100,000
学校クラブ活動に対する補助	1,000,000	215,787	784,213	海外研修、懸垂幕	1,000,000
学校設備等の改善援助金	1,000,000	444,400	555,600	部室室内ペンキ塗装、興学館・旧講堂屋根清掃・サッカー	1,000,000
国 際 交 流 援 助 金					1,000,000
稲 葉 真 弓 コ ー ナ ー	100,000	7,685	92,3150		100,000
雑 費	100,000	71,000	29,000		100,000
120周年記念事業運用資金		6,000,000	△ 6,000,000	募金が開始されたら補填	
合 計	3,800,000	7,910,964	1,889,036		3,800,000

当年度収支差額	0	△ 4,597,914		0
前年度繰越収支差額	17,713,001	17,713,001	前年度貸借対照表より	11,616,587
繰越入金	△ 1,498,500	△ 1,498,500		△ 1,498,500
繰越金支出	0	0		0
次年度繰越総額	16,214,501	11,616,587		10,118,087

備考：各科目間の流用を認める。

(四)

一般財団法人三稜育英会
貸借対照表

令和2年3月31日現在

科 目	金 額
I. 資産の部 普通預金	
普通預金 三菱UFJ銀行 津島支店	11,616,587

	前 年	繰越金	本 年
松の木保全対策費	2,024,627	69,630	2,094,257
三稜文庫充実費	698,351	95,600	793,951
稲葉真弓コーナー	2,702,328	74,726	2,777,054
三 稜 育 英 会	345,000	541,500	886,500

令和二年度 三稜会役員等 (案)									
相談役		津田はるみ	高4	理事	河村 茂	高29	(会計)		
		岡田 貞雄	高6		伊藤 仁一	高32			
		後藤 務	高13		伊藤 憲司	高33			
		田中 秀彦	高13		岩田 政久	高34			
		千賀 修一	高14		尾崎 千尋	高35			
		渡辺 勝	高14		伊藤 紀彦	高36			
		横井 義一	高15		馬場 孝道	高36			
		半田 貢	高20		市川 幸造	高37			
		水谷 正照	高20		平野 誠二	高38			
		横井 五六	高27		吉川 智幸	定60			
顧問		佐藤 忍	高17		服部 昭弘	高39			
会長		大野 芳樹	高31	校長	安藤 公一	高39			
		北角 浩一	高32		日比 康詞	高40			
副会長		東海 広光	高21		蓑田 景士	高41			
		鈴木 睦	高23	監事	伊藤 欽章	高42			
		長谷川 実	高29		伊藤 嘉啓	定59			
		服部 隆宏	高29		山岸 功治	高26			
		神田 昭雄	高32		横橋 俊一	高37			
常任理事		片岡 静子	高19	事務局	丹後 茂	事務局長(教頭)			
		寺田 百合	高23		小笠原正士	高32	(書記)		
		青山 道男	高24				(会報)		
		石川 鑛一	高25		立松 秀樹	高35	(会計)		
		水谷 靖	高31		山田 真人	高53			
		大野 広樹	高34				(三稜懸賞論文 教職員三稜会)		
		水谷 弘正	高35						
事務局		鈴木 博己	高26		黒澤 康敏	高34			
三稜会		諸戸 義巳	高27		平野 和枝	高36			
校内事務		山田 潤	高27		星野 孝之	高36			
三好 裕		章博	高29		村松佳代子	高36	(会報)		
			高31	(会報)					

恩師のたより

懐かしさと近況と

一組担任

野々田洋輝 先生



早いものであれから三十二年たつですね。私は昭和六十一年です

から今から三十四年前に初めて教員として教壇に立ちました。あなたの三年先輩を、副担任として二年間教えた後、初めて担任したのがあなた達、第四十三回生の皆さんです。三年間持ち上がり担任し、卒業式には自然と涙が出てきたのをよく覚えています。その皆さんも四十八歳となり、若かった私も五十六歳となりました。私はずっと教員をしています。皆さんは様々なお仕事で頑張っていることと思います。医療従事者の方もいるでしょう。飲食店を経営し、今まさにコロナ禍と戦っている方もいるでしょう。私もまさかここにきて三ヶ月も高校が休校となるとは思いもしませんでした。今年転勤し、名古屋市内の中村高校で一年生を担当していますが、入学式と次の日以来、自分のクラスで生徒に会えていません。学校では数学の解説動画を撮ったりもしています。何とか五月二十五日から再開できそうではっきりしているところ。クラスの子の保護者の年代は皆さんくらいなので、ひょっとしたらお子さんが中村高校に通っている人がいるかもしれません。ほかに皆さんとどこか

で縁あって関わりあう日が来るかもしれませんね。その時を楽しみにしています。

近況報告

二組担任

伊藤 孝 先生



教員生活四十一年間、津島高は再任用を含めて十年間、生徒の顔もはっきりと記憶にあります。でもどの高校だったかは混乱しています。私は現在七十四才です。

回想

三組担任

佐藤 昌功 先生



四十三回生の皆さん、お元気でしょうか。卒業から三十年が過ぎ、社会で中心的役割を担い、活躍されていると確信しています。この学年は、私が担任として「二週目」の学年でした。自分の指導方針を反映させ、卒業時に必要な能力を開発させるという信念がありました。運よく、良好な進路実績を残した学年でもあります。同時に、非常に元気で個性的な集団でした。

私が最も印象に残っているのは一年六組の生徒達です。クラスには「仕切屋」が沢山いました。私が引く張るのではなく、生徒に主

導権を与えました。L.T、学校祭、合唱コンクールなど、全て生徒達の意志に任せ、必要な時にだけ介入しようと思っていました。

ところが、遠足のバスレクで、カラオケをしたことから、導火線に火がついたかのように暴走が始まりました。除草週間で抜いた藤の蔓を教室内に持ち込む、合唱コンクールでは、英語の曲はやめておけという助言を無視し、「生徒会特別賞」を取ってしまう、入試の時には生徒だけでスキーに行ってしまう、等々。このような暴走にどれほどはらはらしたものでしょうか。これほど元気で結束力のあるクラスは最初で最後でした。私も還暦を過ぎ、教壇に立てるのもあとわずかとなりました。死ぬまで皆さんの思い出は忘れないでしよう。それほど印象に残る学年です。

近況

四組担任

眞弓 和久 先生



卒業後三十年、四十三回生の皆さんお久しぶりです。「光陰一去不復返」皆さんと楽しく過ごした往

時を時に懐かしく偲んでおります。私は二〇〇六年、五十七歳で早期退職をして、中国「雲南大学」に語学留学、その後二〇〇八年から「武漢科学技術大学」、「紹興文理学院大学」、「遼寧師範大学」と中国の三大学で教鞭を執ってきました。広い中国の各地方を渡り歩いたことになりました。今何かと話題の「武漢市」にも一年間滞在していました。どの大学の学生も勉強熱心で慎重深く、落ち着いた雰囲気の中で授業を行うことができました。

二〇一五年に帰国後は、日本で働く外国人技能実習生への日本語教育と里山の整備保全の二つのボランティア活動に参加しています。また家庭菜園も少しずつ拡張し、今や三百坪ほどを鋤一本で耕しています。安全で美味しい五十種類の野菜や果物が育つてくれます。その他下手の横好きのテニス、ヨット、中国笛、詩吟等々健康に感謝しつつ日々楽しんでます。

社会の中心として活躍されている皆さんとお会いしてお話できることを楽しみにしております。

近況報告

五組担任

高橋 利幸 先生



四十三回生の皆さんお元氣ですか。卒業から三十年、月日が経つのは本当に早いものですね。私も五十九歳、定年まであと一年を残すのみとなりました。

私は三十二回生として卒業した母校である津島高校の教員となることが夢でした。教員試験に合格できず諦めた時、「俺の仲間になれ」と、恩師の言葉に支えられました。夢叶い新任教師として赴任、「高橋先生」と呼ばれたあの日、担任としてあなた達と笑い涙した日々、野球部監督として共に汗を流した六年間は正に夢心地でした。その後は様々な学校へ異動し、頭髮・服装点検の毎日でしたが、学校制服の新調や、海外修学旅行の実施にも取り組みました。また、津島高校定時制にも勤務し、高齢の方、日本で働ながら学ぶ他国の青年とも学びを共にしました。今は女子ソフトボール部の熱血監督、生徒と青春ドラマしています。一方で、バレーボール協会の役員として、日の丸を胸に国内をはじめ、海外でもバレーボールに接し、素晴らしい出会いと経験に恵まれた三十年間です。

自宅書斎に飾られた「三年五組卒業記念」と刻まれた集合写真、それを眺めてはあの頃に想いを馳せ、皆さんが健康でますます活躍されることを祈念しています。

ご無沙汰しています

六組担任

山田 一男 先生

五年前に定年退職し、それに続く再任用期間を終え、職業は？と問われると、「農業」と答える今日この頃です。決して広くはない田畑ですが、その管理が大変で農業には関わりたくないと思っていました。しかし、遂に年貢の納め時が来たなという感じです。ただ幸



思い出の津島高校

七組担任

小柳 保征 先生

いなことに、周りには同じような方が見え、いろいろ教えてもらいながら、それなりに農業を楽しんでいます。熟読しなかった数学書にも、取り組み充実した日々を過ごしています。

振り返ると、美和高校から津島校に赴任した年に、二年生を担当として、毎回熱心な議論を重ねたことが心に残っています。

四十三回生の皆さんとは、三年間を共にしました。一年次には、より有意義な保護者会を目指して、三者（親・生徒・教員）グループ懇談会を企画しました。「よその子の考え方が知れてよかった」「司会を生徒がやるのに感心した」「親である私がかもつと発言すべきだった」など好意的な感想が多かったです。二年次には休日出校してクラスバレーボール、土曜日午後のクラスバレーなど、野外活動にも興じました。三年生になると学年の雰囲気



が受験へ向かい、授業に真剣味と緊張感が増し、充実した一年間でした。万事に生徒諸君が教職員の働き掛けによく応えてくれ、やりがいのある学校でしたね。

三十八年間六つの高校に勤め、今は山を見ての暮らしです。土地の人と交わり、都会からの新住民の方々と憲法と平和をめぐる意見を交換し行動する生活を送っています。

思
い
出

八組担任

山田 知生 先生



記憶が私の都合のいいように書き換えられているのかもしれない。でも、津島高校での教員生活は今思い返しても楽しい思い出です。

昭和六十一年四月、私は新任教師として津島高校に赴任しました。まだ、携帯電話も、インターネットも、SNSもないのんびりした時代でした。そこは、なかなか個性的な先輩や同期がいて、なかなかできた生徒たちに囲まれて、毎日が忙しく、楽しく、そして、初めての体験にあふれた場所でした。そして始まった教員生活。右も左もわからない新米教師の僕に、先輩方がくれたアドバイスは、「好きのようにやってください。・・・」でした。はじめは「具体的なアドバイスが欲しいのに」と困っていました。しかし、次第に自分たちで考えたこと、企画したことが実

津島高校雜談

九組担任

伊藤 聡志 先生

津島高校は、昭和五十九年から平成九年、再任用で平成二十九年三十年と合わせて十六年勤務させてもらいました。その間、いろんな経験をし、楽しい思い出いっぱいです。運よく再任用で出戻ることができ、生物室に入ると、当時のまま、ほぼゴミのような物品が所狭しと、ほこりをかぶって積み上がっていました。テーブなど不要な物を処分し、少しきれいにしておきました。ろうかには、ほこりをかぶった海亀がいます。三中備品と焼き印のあるその標本はネットと調べるとアカウミガメの

現してゆく面白さがわかってきました。とにかく、好きなことを好きなようにやらせてもらえた気がします。部活、学校祭、合唱コンクール、修学旅行、統一L.T、クラス菜園、バーベキュー……など。もちろんそこには多くの人たちのフォローがあったのですが、自由の中で思いつきの活動ができる環境は、生徒諸君の自主性と個性を育てていたのだと思います。

今にして思えば、これはすごいことです。津島高校の最大の魅力だったのかもしれない。ここで学んだことが今の私のベースになっています。こうした環境の中で教員生活をスタートできたことは私にとっても幸せだったと思います。そんな私も定年まであと三年となりました。もうひと頑張りです。



―― 訃報のお知らせ ――

10組担任
塚本勝彦先生

ご逝去されました
ここに謹んでご冥福をお祈り
いたします。



▼令和2年 大学合格者状況

	大学名	R2		大学名	R2		大学名	R2
国立	北見工業大	1	私立	早稲田大	1	国立	南山大	83(5)
	秋田大	1		東京理科大	1		日福大	35
	弘前大	1(1)		日本大	1		人間環境大	8
	一橋大	1		明治大	1		日赤豊田大	4
	山梨大	1		東海大	2		一宮研伸大	10
	富山大	2		金沢工業大	6(4)		藤田医科大	28(1)
	福井大	2		常葉大	1(1)		星城大	6
	静岡大	2		岐阜聖徳学園大	50(1)		名城大	106(10)
	岐阜大	13(1)		岐阜医療科大	16		皇學館大	1
	名古屋大	1		愛知大	166(2)		鈴鹿医療科大	17
	愛知教育大	16		愛知医科大	5		四日市看護大	13(1)
	名古屋工業大	5		愛知工業大	98(7)		四日市大	4
	三重県大	9		愛知淑徳大	94(1)		長浜バイオ大	12(1)
	滋賀大	3		愛知学院大	94(1)		京都産業大	7
	京都大	1		愛知工科大	1(1)		同志社大	11
	大阪大	1(1)		桜花学園大	4		立命館大	16(4)
	奈良教育大	1		金城学院大	22		関西大	3
	広島大	1(1)		修文大	5(1)		関西学院大	1(1)
	島根大	1		椙山女学園大	66		近畿大	1(1)
	山口大	1		大同大	36(2)		私立大計	1291(62)
公立	秋田県立大	2	大学	中京大	54(7)	短大	岐阜市立女短	1
	東京都立大	1(1)		至学館大	8		名古屋短	2
	富山県立大	5(1)		中部大	71(3)		名女大短	1
	福井県立大	1		東海学園大	8		三重短	1
	諏訪東京理科大	2(1)		同朋大	1		愛知大短	3
	長野大	1		豊田工業大	2		その他	5
	静岡文化芸術大	1		名学院大	38(7)		短大計	13
	公立小松大	1		名外語大	18			
	愛知県立大	8		名商大	3			
	名古屋市大	3		名女大	20			
大学	三重県看大	1	学	名学芸大	11	短大		
	神戸市外国語大	1(1)		名文理大	5			
	国公立大計	91(8)		名芸大	5			

▼最近4年間卒業生動向

		令和2年	平成31年	平成30年	平成29年
卒業生数	女	353	167	348	173
	男	186	175	357	185
大学進学	女	317	149	298	150
	男	168	148	318	165
短大進学	女	6	5	7	0
	男	1	1	6	0
専・各種学校	女	9	7	13	3
	男	2	10	16	9
文・省・外・大	女	0	0	0	0
	男	0	0	0	0
浪人	女	19	4	29	5
	男	15	24	11	2
就職	女	1	1	1	0
	男	0	0	1	0
その他	女	1	1	5	2
	男	0	0	3	1

ホームページのご案内

三稜会では、創立110周年記念事業の一環として、諸先輩のご尽力をいただきながらホームページを立ち上げました。多くの卒業生の方々のお陰で、様々な情報を発信することができるようになりました。

ますます情報化が進み、浸透して行く今日、当会においても情報の発信をより広く、スピーディーに行うために、ホームページを積極的に利用活用したいと考えております、その一環として、まずはリニューアルを行いました。

今後、皆様からのアイデアをいただきながら、新しい時代にマッチした変化を目指していきたくと考えております。何卒、ご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

<http://www.sanryokai.com>

卒業生の活動、活躍などお知らせください。
またご意見などいただければ幸いです。

info@sanryokai.com

ホームページ担当 北角浩一（32回生）

ご寄付いただきました



5月28日(木) 34回生羽柴鉦二様ご経営の「有限会社羽柴化成工業」からマスク2千枚が学校に寄贈されました。時節柄大変助かりました。有難うございました。(写真の贈呈者はご子息の羽柴健将様です。)



5月27日(水) 昨年の幹事学年42回生の代表伊藤寿浩様を通じて、42回生より消毒液15リットルが学校に寄贈されました。時節柄生徒の手指の消毒等に使用していただきました。有り難うございました。



昨年の幹事学年42回生からは、体育館や武道場用の大型送風機4台を寄贈していただきました。最近の猛暑（特に今年はコロナの影響で夏休みが短くなり8月も授業があります。）の折誠に有り難うございました。また、一昨年の幹事学年41回生からは体育館設置の大型製氷機をいただき、2学年あわせて夏場の生徒が大変助かっています。

編集後記

新型コロナウイルスによって4～5月の学校生活がなくなり、部活動も学校行事もほとんど無くなってしまいました。6月になってようやく学校も通

常に戻りつつありますが、生徒はマスクをしながらの学校生活で、暑い季節にづらい思いをしています。この未曾有の苦難を若い力で乗り越え、コロナ後の世界を力強く生き抜いて欲しいと願うばかりです。

